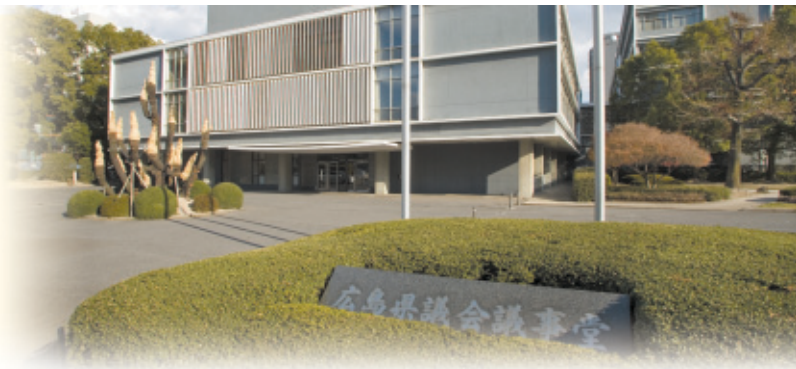


# 県政に関する質問から

本会議では、12月11日・12日・13日の3日間、9人の議員が一般質問を行い、財政健全化への取り組みや中山間地域・過疎地域の振興対策、防災・危機管理体制の充実、福祉・医療の充実、教育問題など、県政が直面する様々な課題について、県民の視点に立った論議を展開しました。

紙面の都合上、1人2問以内で掲載しております。



12月11日 一般質問(要旨)



まつおかひろみち  
松岡宏道 議員  
自民刷新会議(福山市)

## 来年度予算の編成方針

**問** 将来の活力につながる戦略的な施策と、今まで光が届きにくかった地域の活力を引き出す施策とのバランスを取り、元気な広島県づくりと財政健全化を進め、併せてプライマリーバランスの黒字化が必要と考えるが、県の予算編成方針を問う。

**答** 財政状況は厳しいが、選択と集中の徹底により「元気挑戦プラン」の重点施策に必要な財源を確保し、健全な財政基盤の確立と「元気な広島県づくり」の推進の両立を目指す。特に新たな過疎対策、人材の育成、中枢拠点性の向上については重点配分し、併せて、可能な限り県債の発行を抑制して決算段階での黒字化に努める。

**用語解説**  
**プライマリーバランスの黒字化**  
県債の元金償還額と発行額(臨時財政対策債などを除く)とのバランス。元金償還額が発行額より多くなると黒字。  
黒字：元金償還額<発行額  
→ 県債残高が減少  
赤字：元金償還額>発行額  
→ 県債残高が増加

## 防災・危機管理体制の充実

**問** 大規模な自然災害等が多発しており、危機事案への的確な対応により、生命・財産を守る必要がある。現状認識と、緊急時にセンターとして機能する施設等の整備も含めた今後の取り組みを問う。

**答** 県の防災・危機管理体制のあり方を検討しており、対応マニュアルの整備や訓練の充実、災害対策本部のスペース、耐震性などが課題と認識している。職員の対応能力向上、防災拠点としての耐震性の確保などの危機管理センター機能を早期に整備するよう検討を急ぐなど、体制の強化に努める。



かなくち いわお  
金口 巖 議員  
民主県政会(尾道市)

## 財政健全化の見通し

**問** 道路整備の完成が遅れるなど、痛みを伴う財政健全化について、どのような見通しを立てているのか。また、財政健全化と元気な広島県づくりの両立に向けた知事の力強いメッセージを伺う。

**答** 現行の地方財政制度は国の将来見通しを現時点で確定的に示すことは困難であるが、できる限り展望を示せるよう努力する。堅固な財政基盤の構築と元気な広島県づくりの二つの目標をともに実施すべく、層の施策の選択と集中を徹底し、重点施策に思い切った財源配分を行う。

## 瀬戸内しまなみ海道の通行料金の引き下げ

**問** 現在瀬戸内しまなみ海道については、通行料金の割引のほか、地元尾道市において、沿線住民のETC設置費に対する支援が行われている。代替路がなく生活道路としての地元住民の利用実態を考慮すれば、さらなる料金引き下げに取り組むべきと考えられるが、知事の所見を伺う。

**答** 料金負担の低減に向け、本県も出資金や直轄負担金など自分の負担をしている。今後とも、愛媛県や沿線市町と協力し、より利用しやすい料金体系に向け、国などの関係機関に要請していく。

**用語解説**  
**瀬戸内しまなみ海道**  
尾道市と今治市(愛媛県)を結ぶ約60kmの西瀬戸自動車道の愛称。普通車の通行料金は、現在片道4,700円(基本料金に対して28%の割引)で、ETC車は最大41%の割引となっている。



もりかわいえただ  
森川家忠 議員  
自民(竹原市・豊田郡)

## 離島における航路対策

**問** 離島航路は島民の生活に欠かせない交通手段だが、過疎化や燃料高騰などで極めて厳しい状況にあり、地元等の自助努力だけで解決できる問題ではない。国の補助の対外外となる離島航路について、税金で整備している道路と同様に位置づけを支援を行うべきであるが、県の考えを伺う。

**答** 本年度の生活交通の補助制度見直しにより、一定の条件が整えば生活航路もバスと同様の支援を行うこととした。住民生活に必要な不可欠な生活交通であり、取り巻く環境変化を注視しながら、市町と連携した適切な対応を考えていく。

## 新たな過疎対策の予算への反映

**問** 今秋、県は各部横断的な全庁組織として「新過疎対策推進プロジェクト・チーム」を設置した。このプロジェクト・チームがリーダーシップを発揮し、各部と積極的な調整を図り、新たな過疎対策が来年度当初予算に確実に反映される必要があるが、どう取り組むのか。

**答** 過疎地域の現状分析を踏まえ、プロジェクト・チームを中心に、総合的かつ全庁的検討を進めている。集落を支える仕組みづくり、医師確保、耕作放棄地の保全、高度情報化など、緊急性や事業効果の高い対策を実施し、先導的効果的な過疎対策を推進していく。

**用語解説**  
**新過疎対策推進プロジェクト・チーム**  
地域間格差や小規模高齢化集落の増加などの課題に迅速・的確に対応するため、各部横断的な全庁組織として昨年10月に設置。新たな過疎対策に関する検討、企画・立案などを行う。

12月12日 一般質問(要旨)



あさの よしじ  
浅野洋二 議員  
公明党(福山市)

## 福山城外堀遺構の保存

**問** JR福山駅前の整備事業に伴う発掘調査で福山城外堀遺構が出土したが、福山市は現整備計画の範囲内で遺構の保存・活用を努めることとしている。歴史的価値の高い遺構の保存について、県はどのような見解を持ち、また開発事業との調整に当たって、市はどう指導・助言していくのか教育長に伺う。

**答** 文化財保護と開発事業との適切な調整が図られることが必要とされており、文化庁などとも連携し、福山市教育委員会に対して、石垣の取り扱いや保存・活用の具体的方法など、必要な助言や情報提供を行うしていく。

**用語解説**  
**福山城外堀遺構**  
一昨年8月の試掘調査により、福山城外堀の石垣を確認。その後、二重櫓(にじゅうやぐら)を含む舟入状遺構の石垣も残存していることが判明。

## 鞆の浦の世界遺産登録

**問** 長い歴史の面影を留める鞆の浦の港湾施設は、世界遺産の核となりうる貴重なものである。朝鮮通信使の通ったルートを世界遺産にしようという動きがある中、鞆や下浦刈島の三之瀬港がルート上にあることから、世界遺産に向けた動きが必要と思うが、教育長の見解を伺う。

**答** 世界遺産登録に向けた活動は承知しているが、その保存・活用については、地元自治体あるいは住民の方々の理解と協力が不可欠である。鞆などの歴史的な文化遺産が適切に保護されていくよう、地元自治体などの意向を踏まえながら取り組んでいく。

委員名簿 15人

委員長	宮 政利
副委員長	富永 健三
副委員長	河井 案里
委員	中村 道徳
委員	緒方 直之
委員	日下 美香
委員	東 保幸
委員	小林 秀矩
委員	大井 哲郎
委員	武田 正晴
委員	下原 康充
委員	浅野 洋二
委員	犬童 英徳
委員	平 浩介
委員	小島 敏文

普通会計…一般会計と公債管理特別会計など14の特別会計の総称

●一般会計決算の状況 (単位:百万円)

区分	金額
歳入総額	981,450
歳出総額	976,775
歳入歳出差引額(A)	4,675
翌年度繰越額(B)	2,276
実質収支額(C)=(A)-(B)	2,399
平成17年度実質収支額(D)	644
単年度収支額(E)=(C)-(D)	1,755
財政調整基金積立金(F)	405
財政調整基金取崩額(G)	44
実質単年度収支(H)=(E)+(F)-(G)	2,116

- 実質収支は23億9,900万円の黒字が生じるとともに、単年度収支も17億5,500万円の黒字(会計処理方法の変更に伴うもので、実質は赤字)となっています。
- 県債の残高は2兆576億円と前年度に比べ387億円増加し、公債費負担比率は19.7%と一般的な危険ラインとされる20%に近く、高い水準にあります。
- また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.5%で、前年度と比べ上昇しており、財政構造は一層硬直化しています。

付託議案の審査結果  
平成18年度普通会計決算認定 **可決** (全会一致)

**主な質疑事項**

- 1 財政健全化に当たっては、今後の見通しや取り組み内容を県民に説明し理解を得るとともに、本県の活力や行政サービスが低下しないよう努めること。
- 2 地方分権型社会に向けた今後の広域自治体としての県のあり方や役割について検討を深めること。
- 3 地球温暖化問題については、家庭部門などの二酸化炭素排出削減に向け、県民運動等の取り組みを推進すること。
- 4 都市部と中山間地域の医療サービスの格差是正に向け、産科医師の確保など早急に効果的な対策を検討すること。
- 5 集落法人の設立や農業外企業の参入促進を図るとともに、農業経営の効率化に資する生産基盤の整備を進めること。
- 6 県産材の消費拡大を進めるとともに、森林の公益的整備に努めること。
- 7 広島西飛行場については、期限を定めて早急に広島市や経済界と協議を行うこと。
- 8 鞆地区の埋立架橋問題は、公有水面埋立法に基づいて厳正に判断すること。
- 9 定時制課程と通信制課程とを統合した定通併置校を広島地域へ早期に設置するよう検討すること。
- 10 国民体育大会の上位入賞を目指し、さらなる選手強化に努めるとともに、選手強化費の増額を図ること。
- 11 観光振興に当たっては、観光プロテューサーの設置が必要であり、イメージ戦略の強化と資源の掘り起こしにも取り組むこと。
- 12 女性が安心して相談等ができるよう、交番への女性警察官の配置と施設環境整備に努めること。

**普通会計決算特別委員会における審議の状況**